



講演医師ご紹介

三井記念病院 総合内科 科長

峯村 信嘉 医師



学会認定

日本内科学会認定総合内科専門医

日本老年医学会認定老年病専門医

日本リウマチ学会認定リウマチ専門医・指導医

1997年 名古屋大学医学部卒業

同年 虎の門病院 内科病棟医

2001年 国立名古屋病院 総合内科

2005年 国立国際医療センター 膠原病科

2006年 名古屋医療センター 膠原病内科（～2018年）

2009年 国立療養所多磨全生園 内科

2010年 カリフォルニア大学サンフランシスコ校総合内科へ留学（～2012年）

2019年 三井記念病院 総合内科（現職）

著書紹介

ステロイド使用に習熟した専門医が提唱するirAEマネジメントのすべて！

免疫チェックポイント阻害薬（ICI）での治療が行われるがんの種類が増えるにつれて従来のがん治療では認められなかった劇的な効果を認める患者さんが増えている中で、ICI治療に伴って出現する免疫関連有害事象（irAE）を適切に認識して対処することがいよいよ欠かせないものとなっています。

irAE診療において参考とされることの多い各ガイドラインまたは書籍の多くは多臓器にわたるirAE病態の多様性を十分反映して各領域の専門家による記載の総和として提示されていることが多いのですが、本書の特色はirAE治療の柱となっているステロイドの実際の使用において一日の長がある膠原病科医の視点から書かれているところにあります。

本書が日常診療の現場で活用されることで、irAE診療においてステロイド治療の必要性を認識しつつも「こんなに沢山のステロイドを使っても大丈夫だろうか」「抗腫瘍効果を妨げないだろうか」「副作用は大丈夫だろうか」と躊躇することの多かった場面で適切な決断を後押しする助けになる書籍です。

株式会社 金芳堂 書籍紹介ページより



講演のお申込みはこちら

